

2020年4月13日

各 位

会 社 名 株式会社トランザクション  
代 表 者 代表取締役社長 石川 諭  
(銘柄コード 7818：東証第一部)  
問合せ先 取締役 北山 善也  
電 話 03-6861-5577

## 特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパンとの ライセンス契約締結に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社トレードワークス（以下、トレードワークス）は、特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン（以下、フェアトレードラベルジャパン）とライセンス契約を締結し、国際フェアトレード認証コットン（国際フェアトレード基準（※1）に従って調達されたコットン）を使用したエコバッグの販売を開始することといたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. ライセンス契約の目的

フェアトレードラベルジャパンは、国際フェアトレード認証ラベル（※2）のライセンス事業などを行い、「フェアトレード」を広めるための活動をしております。「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」です。この「貿易のしくみ」は、「SDGs（持続可能な開発目標）」が掲げる17の目標のほぼすべてに関連します。また、企業や団体の活動が国際フェアトレード基準を満たすことは、特に「SDGs」の8つの目標（※3）達成に大きく寄与するものとして、国際機関や国内外の多くの企業から注目を集めています。

国際フェアトレード認証  
コットンラベル



今回トレードワークスは、フェアトレードラベルジャパンの活動に賛同し、自社オリジナル製品ブランドである「**MARKLESS STYLE**」の製品ラインナップに、国際フェアトレード認証コットンを使用したエコバッグを加えて販売を開始することといたしました。

トレードワークスでは、当社グループの企業理念に基づき、「モノづくり」において環境に配慮した製品の提供を行うとともに、「フェアトレード」の普及につながる製品の提供に努めてまいります。また、事業を通じた社会貢献と「SDGs」の達成に向けた取組みをさらに加速してまいります。

※1 国際フェアトレード基準

国際フェアトレードラベル機構によって設定されるフェアトレード全般に関する基準です。開発途上国の小規模生産者・労働者に対して、持続可能な開発の促進を目指して設計されており、生産者と輸入・製造・卸組織は、適用される基準を守り生産や取引を行う必要があります。

※2 国際フェアトレード認証ラベル

国際フェアトレード基準が満たされていることを証明するラベルです。

※3 国際フェアトレード基準と「SDGs」8つの目標

| SDGs  |                                | 国際フェアトレード基準・フェアトレードの取組み  |
|---|--------------------------------|--|
|    | 目標1.<br>貧困の撲滅                  | ・小規模生産者の持続可能な生産・生活を支えるフェアトレード価格+プレミアムの保証<br>・長期的な取引の促進<br>・必要に応じ生産者への前払いの保証  |
|    | 目標2.<br>飢餓の撲滅、持続可能な農業の促進       | ・小規模生産者の持続可能な生産・生活を支えるフェアトレード価格+プレミアムの保証<br>・フェアトレード環境基準：農業の使用制限、水源・土壌・生物多様性の保全、エネルギー・CO2排出削減  |
|    | 目標5.<br>ジェンダー平等                | ・ジェンダーの平等とエンパワメント<br>・プレミアムを女性の負担軽減に活用し、社会的立場の向上へ活かす例も：衛生な水へのアクセス、医療、育児・移手段へのサポート等   |
|   | 目標8.<br>安全安心な労働環境、強制労働・児童労働の撲滅 | ・ILO憲章に基づくフェアトレード基準：労働者の権利、よりよい労働条件・労働環境の保証、生活賃金の保証<br>・児童労働・強制労働発生リスクへの対策   |
|  | 目標12.<br>持続可能な消費と生産            | ・フェアトレードは消費者と生産者・ビジネスを繋げる仕組み<br>・生産サイドの取組みとしては、環境的に持続可能な農法の促進やプレミアムによる持続可能性への取組み：灌漑、生産性の改善等<br>・消費サイドの取組みとしては、世界30カ国・2000以上の自治体がフェアトレード調達を促進（「フェアトレードタウン」）   |
|  | 目標13.<br>気候変動への対策              | ・エネルギー使用削減、土壌・水源・生物多様性の保全等<br>・50%以上のフェアトレード認証生産者はオーガニック認証も取得 →環境負荷、気候変動の側面からも有効<br>・気候変動への対策トレーニングの提供<br>・プレミアムを気候変動対策に活用する例も：雨水灌漑、環境負荷低減農法への切り替え   |
|  | 目標16.<br>平和で包摂的な社会の促進          | ・フェアトレード・インターナショナルのガバナンス：小規模生産者・労働者が50%の意思決定権を握り、基準・方針策定などに彼らの意志が反映されている。<br>・小規模生産者・労働者自らが政策提言に深く関わっていきける体制（エンパワメント）  |
|  | 目標17.<br>グローバル・パートナーシップの活性化    | ・マルチステークホルダーアプローチ：フェアトレード基準策定プロセス、持続可能な農業開発に向けたイノベーション、資金調達<br>・Incofin Fund Management, Grameen Foundationとのパートナーシップで、生産者へのファイナンスサポート<br>・政府セクターやプライベートセクターとのパートナーシップ：ネスレ・ネスプレッソ、コロンビア政府、コーヒー生産者組合と共同で退職金プロジェクト |

※1～※3の詳細につきましては、特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパンのホームページをご参照ください。

(URL : <https://www.fairtrade-jp.org/>)

## 2. 株式会社トレードワークスの概要

|               |  |
|---------------|--|
| (1) 名称        | 株式会社トレードワークス   |
| (2) 所在地       | 東京都渋谷区   |
| (3) 代表者       | 千葉 啓一  |
| (4) 事業内容      | 自社で企画する見込生産製品を主に卸売業者へ販売を行うファブレスメーカー。トラベル関連製品及びペットウェア・関連製品の開発、販売。VAPE 及び関連製品の仕入、販売。 |
| (5) 大株主及び出資比率 | 株式会社トランザクション 100%子会社   |

## 3. 相手先の概要

|                   |   |             |
|-------------------|---|-------------|
| (1) 名称            | 特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン   |             |
| (2) 所在地           | 東京都中央区  |             |
| (3) 理事長           | 堀木 一男   |             |
| (4) 事業内容          | 国際フェアトレードラベル機構（Fairtrade International）の構成メンバーとして、日本国内において次の役割を担っています。<br>■国際フェアトレード認証ラベルのライセンス事業と製品認証事業<br>■国際フェアトレード認証ラベルの普及推進活動<br>■フェアトレードの教育啓発活動<br>■国際フェアトレードラベル機構事業への参加（フェアトレード基準や方針の策定、生産者支援、資金調達等） |             |
| (5) 設立年月          | 1993年11月  |             |
| (6) 上場会社と当該会社との関係 | 資本関係  | 該当事項はありません。 |
|                   | 人的関係  | 該当事項はありません。 |
|                   | 取引関係  | 該当事項はありません。 |
|                   | 関連当事者への該当状況   | 該当事項はありません。 |

## 4. 今後の見通し

本件に伴う、2020年8月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

## 5. お問い合わせ先

### (1) 製品・取扱い店舗に関する事項

株式会社トレードワークス 商品部 TEL. 03-5468-7271

### (2) 報道関係者様からの取材に関する事項

株式会社トランザクション 経営企画部広報担当 TEL. 03-5468-9033

以上